

みんなのサステナ idea

暮らしの中でできる
エコアクションの
アイディアを聞きました!

推薦人→編集 TN

野菜やフルーツの皮を、なるべく捨てずに使用。キウイフルーツは皮も食べられると聞いてから、スマートを作るときにもうと入れています。皮を剥く手間もなくなってうれしい!

推薦人→札幌市職員 AKさん
趣味のランニングには、ドリンクをマイボトルに入れ携帯。粉末タイプのスポーツドリンクから作ることで、家の中にペットボトルを何本も置く必要がないため、収納も省スペースに!

推薦人→読者モニター
みっちーさん

冷凍食品はなるべく紙トレーのものを選ぶようにしています。また、量が多く入っていて個別パッケージされてないものを選ぶとオトクだし、ごみも出ないので利用しています。

推薦人→読者モニター
モルックさん

不用品をネットのフリマサービスで売ったり、短期間しか使わない子ども用品などは中古品を買ったり、レンタルしたりしています。

推薦人→読者モニター
ななさん

ごみをしっかり分別する! 子どもたちもしっかり分別する習慣がつきました。ごみ袋の節約にもなるし、すごくいいなと思います。

環境に配慮した取組がたくさん /
2023さっぽろオータムフェスト

「北海道・札幌の食」をメインテーマに、道内各地から「環境首都・札幌」として、次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市を目指して、環境配慮に関する取組をスタート!

期間 | 9/8金~30土 会場 | 大通公園西4丁目~8丁目、10丁目、11丁目

使い捨てのプラスチックの削減 全会場
食器類は、使い捨てのプラスチック素材を削減。紙・木材など植物由来の素材か、洗浄して再利用するリサイクル食器を使用する。

ごみの分別回収 全会場
会場内にごみ回収ブースを設置。スタッフによる分別を行ない、ビン・缶などのリサイクルに取り組む。

スマートコンポスト(生ごみ堆肥化)の導入 4・5・6・7・8丁目
微生物の働きにより短時間で堆肥に変える「スマートコンポスト」を導入。会場内で出た生ごみを堆肥化し、大通公園の花壇に使用する。

使用済み食用油の回収 5・7・8丁目
会場内の調理で出た使用済み食用油を回収し、燃料や工業用油脂(せっけんなど)にリサイクル。

カーボンオフセットの実施 4丁目
会場内で使用される電気や紙の印刷などにかかるCO₂排出量を算出し、その量に応じて、環境に配慮した事業を支援する「カーボンオフセット」を利用する。

マイボトルで気軽にエコライフ
資源を大切にするための第一歩は、使い捨ての容器を減らすこと!
マイボトルを持ってお出かけしよう。

札幌市役所1Fロビーに登場!
誰でも使える給水スタンド Think Green

札幌市では「2050年までに、市内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする」という目標実現のため、マイボトルを携帯するライフスタイルを推進。2023年3月からは札幌市役所1Fロビーに給水スタンドを設置し、無料で水やお湯を汲めるように。

ほかにもある! 札幌市の給水スタンド
札幌市役所1Fロビーのほか、札幌市水道局本局庁舎(1F正面玄関横)、円山動物園(動物科学館内)、エルプラザ(2F環境プラザ付近)、さとらんど(さとらんどセンター内)、中島体育センター(1Fロビー内)にも給水スタンドを設置。

誰でも利用できるので、ぜひマイボトルを持って訪れて

もっと、サステナブルで心地よい札幌へ

SDGs って?

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2030年までに持続可能(持続可能)でよりよい世界を目指す国際目標。



詳しくはこちちら!

限りある地球の資源を大切に使うことは、地球にいいだけでなく経済的なメリットも。丁寧な暮らしで気持ちのいい毎日を!

テーマ Vol.1 資源を大切に使おう

食品ロスを減らす POINT

- ☑ 食材は、使い切れる分だけ購入する
- ☑ すぐに食べる場合は、賞味期限の近い商品を選ぶ
- ☑ 野菜の皮や葉など、食べられる部分を上手に使う
- ☑ 作りすぎた料理は冷凍保存やリメイクして食べる
- ☑ 外食のときは、食べ切れる分だけ注文する

ごみを削減する ライフスタイルを

環境保全のほか 経済的なメリットも

ごみを出さない、資源を大切にするライフスタイルは、余分なものを買わないので家計費を節約できるメリットも。例えば令和3年度の家庭の「食品ロス」は1世帯当たりで22.43kg、金額にすると約3万円! ごみを削減することは、環境保全に貢献だけでなく、生活を豊かにすることにもなるはず。

海洋プラスチックごみ問題

世界で毎年約800万トンのプラスチックごみが海に流出。実はその約7~8割が街から川をつたって海に流れ出たものなのだと! まずはごみを出さないことが、問題解決の第一歩に。

エネルギーをかけずに CO₂の排出を削減

ごみを減らすことは、ごみ処理のエネルギーだけでなく、モノの製造・保管・配達・販売までにかけられるエネルギーを節約でき、地球温暖化の原因の一つとなるCO₂の排出を削減。また、資源化できない廃棄ごみを減らすことでも、最終処分場をより長く使うことができるようになります。

札幌市では、政令指定都市の中でごみがいちばん少ないまちを目指し、令和9年度のごみの量を52.3万tに目標設定。現在は家庭ごみが約7割を占め、目標達成のために、一人ひとりのごみを減らす心がけが重要。資源を大切にするライフスタイルでごみを削減しよう。

SAPP_{RO} ごみをへらそう
100g/日

※山本施設場: 全体容量773.2万t / 令和3年度末日残容量69.6万t
山口施設場: 全体容量326.4万t / 令和3年度末日残容量35.7万t